

「介護プロフェッショナルキャリア段位」 レベル4（プロレベル）誕生！のお知らせ (昨年11月)

介護老人保健施設なかだ 藤井 武さんがSG グループ初認定。

レベル4認定者は全国で27名。(全レベル認定者219名/平成26年12月末現在)

SG初



■認定者
藤井 武 (ふじい たける)
介護老人保健施設なかだ
介護福祉士
(介護士歴 12年)

●キャリア段位の取得動機は？

施設内で新人教育を担当するなかで、新人職員の手本となるようまず自分が認定を受けようと思いました。また、佐々木総師長からの勧めや支那があり、費用負担、研修時間の確保など、施設側からの協力を得られたことも大きな要因でした。

●大変だったことは？

記録や書類の作成です。記録で全てを判断されるので、普段あまり詳しく記録しない内容も評価項目に合わせて細かく記録する必要があったことです。

●取得してからの変化は？

事実の証明、情報共有にも記録の大切さを実感しました。

●今後について

現場の指導に活かしたい。また、アセッサーも取得しているので段位認定者の育成にも挑戦したいと思います。



■アセッサー
佐藤 育枝 (さとういくえ)
介護老人保健施設なかだ
副主任 介護福祉士
(介護士歴 20年)

●藤井さんを選んだ理由は？

藤井さんは、新人指導者で、グループの介護技術指導にもあたっており、業務内容が既にレベル4を実践できていたためです。

●苦労したこと

変則業務の為、お互いの時間調整が大変でした。しかし、アセッサーを担当することで、介護の基本に立ち返ることができました。

●今後について

藤井さんがアセッサーとしても活躍できるよう、また、次のスタッフのレベル認定の準備もしていきたい。

●施設として どんなサポートを行いましたか？

介護老人保健施設なかだ
平井部長

アセッサーは評価の記入等、自分の時間を割いており、自宅での作業が多く大変であると思い、送込み時には（終了間際）アセッサーにのみ10時間程度時間外労働を認めました。認定者は研修の大変さもあるようですが、申請料等の費用負担もあるとのことなので事業所として支援し、頑張ってもらいました。今後については公的資格でもあるので制度化する関係が加齢に伴って多くの人々が資格取得できるような支援を講ずるようお願いいたします。



介護プロフェッショナル キャリア段位制度とは

キャリア段位制度とは、
個々の介護職員の実践的スキルと
知識を全国共通の指標で評価する
制度。いわば、職業能力評価の介
護版。講習を受けた評価者（アセッ
サー）が内部評価し申請書類を提出し、レベル認定委員会において
審査され認定されるもの。



全国でキャリア段位認定への取り組みが
着実に推進されています。SGグループも
認定者増加中。
新たな認定誕生の際は組合人事労務部
片桐までお知らせください。
mikabagiseg-kumator.jp

発行

東北医療福祉事業協同組合
人事労務部

Tel:0178-51-2580



どこよりも、
いのちを愛する東北へ。